

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライオン（バンジー）		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		～ 2025年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年2月25日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・児童指導員・看護師・作業療法士・理学療法士など多職種がいるので、子どもの個性に合わせた活動や介助、医療的ケアを行うことが出来ます。	クラス会議やケースカンファレンスを定期的に行い、子どもや家族の情報を共有し、支援の方向性の一致を図っています。日々の活動のほか、製作やクッキングにおいても季節感を取り入れるように意識しています。	さらに、多職種でクラス会議やケースカンファレンスが実施できるように工夫していきます。
2	送迎時は福祉車両を使用し、看護師が同乗することができるため、バギーを使用している子どもや人工呼吸器を使用している子どもなど医療的ケアが必要な子どもも利用することが可能となっています。	リフトの操作や、バギーが多いときの座席の収納の仕方などを送迎に関わる職員が行えるよう動画で共有し練習しています。貴重な福祉車両であるため、ちょっとしたことで不具合などあるときは担当部署に報告し、必要時修繕等をしていただいています。	送迎対応可能な職員・パートさんを増やし、安定して送迎対応できるようにしていきます。
3	年代別や階層別、職種種など研修の機会が多くあり、人材育成に力を入れています。	法人全体で各種研修の機会を定期的に設けています。研修後には伝達勉強会があり、研修に参加した職員から学ぶ機会ができています。	外部研修にも参加し、専門性を高めていけるよう努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学校など地域の子どもの交流が少ないです。	在籍する学校の授業に参加することはあるが、月に2～3回と子どもの希望より少ない月があります。学校にエレベーターがなく職員一人で上の階に連れて行くことが困難で、2階以上の教室の授業に参加することが難しい状況です。雪の影響でバギーで通学することが難しいことや、感染症の流行期や子どもの体調などで予定していた交流を中止することもありました。	職員の体制を工夫し、情報共有をこまめに行い、交流を図っていきます。次年度は階段に昇降機が設置される予定であり、授業への参加頻度を上げられると考えています。感染症の少ない気候の安定している時期に積極的に交流を図ることを検討していきます。
2			
3			